

# 社協だより

寄りあいつこ	1
赤い羽根共同募金運動	2、3
各種案内	4

編集と発行／社会福祉法人 田子町社会福祉協議会  
 電話 32-4045 FAX 32-4085 メールアドレス syakyou@bz01.plala.or.jp  
 ホームページアドレス <http://takko-shakyo.jp/>



アマビエ  
作成の様子



8月4日(水)、会食交流事業「寄りあいつこ」の皆さんから田子幼稚園のこどもたちへ、疫病退散を祈願してアマビエのお守りストラップを贈呈しました。アマビエ部分は7月の寄りあいつこに参加いただいた方がフェルトで手作りしてくれたもので、感染予防のため代表者2名(大林 茂さん、渡辺由美子さん)が田子幼稚園を訪問し、お守りとメッセージボードをこどもたちに手渡しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、毎年恒例のこどもたちと高齢者の七夕会・おしるこ会もいっしょに楽しめなくなる中、アマビエのご利益にあやかり、こどもたちが元気に楽しい夏休みを過ごすようお願いを込めたアマビエ守りは、作った方の個性を映し色も表情もさまざま。お気に入りを1つ選んだこどもたちは、いっぱい笑顔で「おじいさん、おばあさん、ありがとう！」と大きな声で元気にお礼を言ってくれました。

## 豆知識

アマビエとは、むかし肥後国(今の熊本)海上に現れた3本足の妖怪。

髪は長く鱗があり、海中から光を輝かせ『今年から6年豊作が続くが病も流行る。自分の姿を写して人々に見せるように』と告げ海中に消えた。アマビエの姿を描くと疫病除けのご利益があるといわれる。不気味だがどこかわいいうアマビエにコロナ収束を祈りたい。



この社協だよりは社協会費と共同募金配分金により発行しています。

～今年度も始まります！～

# 赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金とは、「じぶんの町を良くするしくみ」として、地域福祉活動の推進や福祉課題の解決に役立てられている募金です。

昨年度は1,533,518円の募金をお寄せいただき、その内1,280,000円が今年度田子町で実施される事業に配分されました。ご協力くださった皆さまありがとうございました。

今年度も10月1日から3月31日まで全国一斉に赤い羽根共同募金が始まります。新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々のつながりを保ちづらい社会ではありますが、赤い羽根共同募金はつながることをあきらめず、孤立、孤独の問題に対して取り組む活動を応援していきます。

10月1日から、各行政区の福祉協力員（募金ボランティア）の方が募金のお願いに伺います。今年度も戸別募金のお礼として、たっこ王子の戸別募金ステッカーをお渡ししますので、玄関や携帯電話、手帳に貼るなど自由に活用してくださいね！



▲戸別募金ステッカー

## 今年度田子町の目標額 1,450,000円

赤い羽根共同募金は寄付金が集まってから使い道を決める募金ではなく、あらかじめ使い道の計画を立てて行う計画募金です。

**田子町共同募金委員会では一世帯あたり800円を目標としています。**

※「じぶんの町を良くする」ためにどのくらい協力したらいいのかわからない場合の「目安」としてお考えください。無理のない範囲でのご協力をお願いします。

## ～田子町共同募金委員会からのお知らせ～

### 令和3年8月大雨災害青森県義援金

令和3年8月の大雨災害によって被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

青森県内の3市町村（むつ市、七戸町、風間浦村）に災害救助法が適用されたことから、青森県共同募金会では、この災害により被災された方々を支援することを目的に災害義援金の募集を行います。

田子町共同募金委員会（田子町社会福祉協議会内）では義援金のお取り扱いをしております。皆様のご協力よろしく申し上げます。

受付期間：令和3年8月18日（水）  
～令和3年12月28日（火）



今年も  
ピンバッジ  
で募金♪

田子町社会福祉協議会窓口で  
**500円以上**の募金をされた方へお礼として1個進呈します。

田子町ガーリックセンター内ではピンバッジのガチャガチャを設置しております。

**1回500円。（500円硬貨使用不可。100円硬貨を5枚ご用意下さい。）**

※戸別募金は対象となりません。



戸別募金の目安額



# 800円の募金をするとこのように役立てられます

## 地域福祉活動 185円

- ・町民の福祉意識の高揚と地域福祉の推進を図るために**田子町社会福祉大会**を実施。
- ・町民の心配ごとや困りごとを解決するために定期的に相談日を設ける他、専門的知識を要する問題解決のために弁護士を相談員とする「**専門相談日**」を実施。

## 緊急支援 45円

災害時の被災者への支援をはじめとした各活動に活用。

## 児童・青少年 112円

町内の福祉協力校の小学生・中学生を対象とし、福祉学習や地域における体験学習、ボランティア活動などに活用。



▲田子高校での盲導犬体験実習

## 広報 134円

年4回「**社協だより**」を発行し、町民の皆さまへ福祉の情報を発信。

## 高齢者・障がい者 84円

- ・サンモールにぎわい広場を拠点とした**ほのぼの・よりみちカフェ**では、誰でも自由に出入りできる集いの場を設け、コロナ禍での生きがいづくりや居場所づくりを展開。



▲ほのぼの・よりみちカフェ

- ・高齢者世帯へ絵はがきを配布し、コロナ禍における応援とともに安否確認を実施。



## 広域助成 240円

いただいた募金の**3割**は、青森県内の福祉団体等への助成や災害準備金などに役立てられます。

### 今年度も皆さまのご協力 よろしくお祈いします！

【問い合わせ先】

田子町共同募金委員会（田子町社協内） ☎32-4045

## 第55回田子町社会福祉大会及び チャリティーバザー中止のお知らせ

いつも、標記事業につきまして、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、第55回田子町社会福祉大会及びチャリティーバザーは中止とさせていただきます。コロナ禍が落ち着き、晴れて開催の際には、変らずのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 令和3年度専門相談日の お知らせ

田子町町民を対象とした弁護士による無料法律相談（財産、相続、離婚、法律に関する問題等）を下記のとおり予定しております。是非この機会にご利用ください。

詳しい内容は日時が近くなりましたらケーブルテレビやホームページで再度お知らせいたします。

月 日	時 間	場 所
令和3年10月27日(水)	10:00 ～12:00	せせらぎの郷2階
令和4年2月2日(水)		

※新型コロナウイルス感染症の関係により日程が変更される場合があります。

※秘密厳守、相談料無料となっておりますが、事前の予約が必要です。詳しいことは下記までご連絡ください。

<問い合わせ先> **田子町社会福祉協議会** ☎32-4045

## 見守りパンフレットの作成に向けて

田子町社協では、地域のつながりを再構築するための見守り活動を町民の皆さまにより知ってもらうため、新たな見守りパンフレットの作成を試みています。この度、アドバイザーを八戸学院大学健康医療学部人間健康学科吉田守実教授へお願いし、専門的知見から助言をいただけることとなりました。8月6日(金)には、吉田教授とゼミ生4名にご来訪いただき、田子町の紹介とともにパンフレット作成に向けた意見交換やイメージの摺り合わせを行う等、完成に向けて鋭意取り組んでおります。

完成後は、町民の皆さまへ配布させていただきますので、お楽しみに(^^)



▲意見交換会の様子



## 絵はがき配布事業

コロナ禍で様々な活動が出来ない中、「つながり」を実感・確認してもらうために昨年度行った絵はがき配布事業を、今年度は75歳以上の「各福祉団体参加者」と「福祉安心電話利用者」を対象に実施します。9月中旬に配布予定なので、届いた方はアンケートや川柳のご協力をお願いします！



学童の子どもたちにつくってもらった絵はがきをお届けします！

## 善意の灯

皆様からの温かいご寄付をお寄せいただきましたのでご紹介いたします。

皆様からのご寄付は社協事業に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

- ・匿名希望 様…………… 3,000円
- ・山本セチ 様…………… 20,000円
- ・小島孝次郎 様…………… コンパクト自走式ウォーカー 1台  
(令和3年6月1日～令和3年8月31日受付分)